

## 令和2年度第2回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 令和2年8月5日(水)  
午後3時00分～  
会 場 教育委員室  
(宇都宮市役所13階)

### 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

(1) 令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施について・・・・・・・・資料1

(2) 令和2年度宇都宮市民大学公開講座について・・・・・・・・資料2

(3) 令和3年度宇都宮市民大学の実施について・・・・・・・・資料3

4 その他

・委員の改選について・・・・・・・・資料4

5 閉 会

## 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(平成30年9月1日～令和2年8月31日)

令和2年4月1日現在

No.	氏 名	所 属 団 体 等 役 職
1	あべ 阿部 ゆり	株式会社下野新聞社 編集局総務部長 【新委員】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">欠席</span>
2	えだ 江田 そういち 壯一	宇都宮短期大学 事務局長
3	おおやま 大山 しんいち 眞一	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ
4	かとう 加藤 たけお 文雄	宇都宮大学 総務部長(兼)広報・地域連携室長【新委員】
5	かわしま 川島 やすお 育郎	株式会社栃木放送 報道制作局長
◎	かわもと 川本 きよし 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
◇	こばり 小針 きょうこ 協子	とちぎ協働デザインリーグ ゆめ評定 理事
○	しまだ 島田 しげお 繁雄	宇都宮市民大学講座企画運営選考委員 宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長
◇	のなか 野中 まさとも 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
10	はせがわ 長谷川 きょうこ 京子	宇都宮市中央生涯学習センター利用団体代表

(五十音順)

◎ 会長      ○ 副会長      ◇ 監事

## 令和 2 年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座を 4 講座 (No. 1, No. 2, No. 5, No. 6), 大学連携講座を作新学院・作新学院女子短期大学部 (No. 3), 事務局企画講座には前期大学連携を予定し中止となった文星芸術大学 (No. 4) を実施する。

なお、開講式は、各専門講座の初回冒頭に、「学長メッセージ」DVD (2分程度) 放映や企画者の紹介などを行う。

また、実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密を回避するなど受講環境の安全を図る。

【別紙 1】後期パンフレット (案), 【別紙 2】受講決定通知書添書 (案)

ア 開催期間 令和 2 年 10 月～12 月

イ 開催回数 6 回～7 回

ウ 定員 30 名 (一律)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「県・国のイベント開催制限の緩和」を参考に、実施会場である人材かがやきセンター研修室の定員の半数を上限とする。なお、机・いすの配置等やスタッフの人数を踏まえ、全ての専門講座を 30 名に変更した。

### 【後期専門講座内容】

No.	講座名	開催期間 (開催曜日・時間帯)
1	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース (全 7 回) 天皇家と栃木県民と自然 ～栃木県の自然を愛される歴代天皇のお姿～	10 月 26 日～12 月 14 日 (月曜日 午前)
2	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース (全 7 回) 大谷石のことをもっと知ろう ～石の街「うつのみや」であるために～	10 月 29 日～12 月 10 日 (木曜日 午前)
3	II 今を読み解く現代社会コース (全 6 回) 現代社会を読み解く知識と考え方 ～日々の暮らしをより豊かにするコツ～ 【作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部連携講座】	10 月 26 日～12 月 7 日 (月曜日 午後)
4	II 今を読み解く現代社会コース (全 6 回) マンガと日本人 ～マンガ媒体の発展・人の心を動かすメカニズム～ 【文星芸術大学連携講座】	10 月 30 日～12 月 11 日 (金曜日 午後)
5	III 暮らしを彩る教養コース (全 7 回) 日本遺産「かさましこ」の世界 ～笠間焼・益子焼を極める～	10 月 29 日～12 月 10 日 (木曜日 午後)
6	III 暮らしを彩る教養コース (全 6 回) 不朽の名作には秘密がいっぱい ～あなたの知ってる西洋美術の世界?～	10 月 30 日～12 月 11 日 (金曜日 午前)

※ 講座の実施会場は、人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター 5 階)

※ 午前⇒10時から正午、午後⇒2時から4時

市民の皆様へのお願い

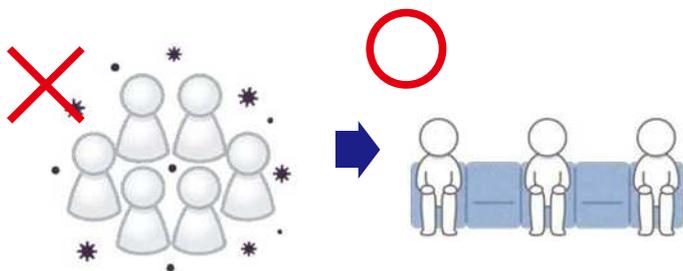
# 新型コロナウイルス感染症 拡大防止にかかるお願い

受講を希望される方は、下記の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

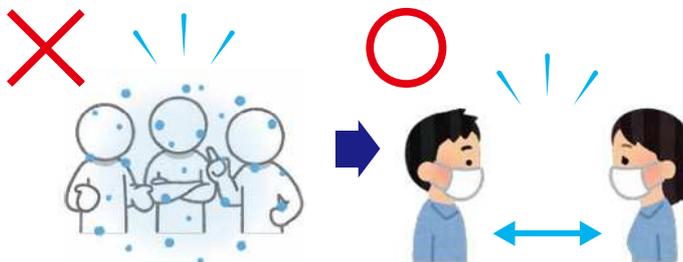
## 受講上のおお願い

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止へご協力をお願いします。

密**集**を防止しよう！



密**接**を防止しよう！



**注意**

マスクは着用必須（各個人で準備）

密集の  
防止

すべての専門講座 定員は30名まで

密接の  
防止

- 座席は指定
- 受付は、間隔をあけて並ぶ
- 演習等は、人と人との距離を確保して実施

密閉の  
防止

- 30分に1回は換気  
※上着やひざ掛け等、体温調節ができるものをご持参ください。

その  
ほか

- 消毒用アルコールによる手指消毒、こまめな手洗い・うがい

## (2) 当日、朝の検温・体調のチェックをしてください。

講座当日は検温し、発熱やだるさなど体調に不安がある場合には、ご参加をお控えください。

※激しい咳が続くなどの場合は、ご退室いただくことがあります。

### お申し込みについて

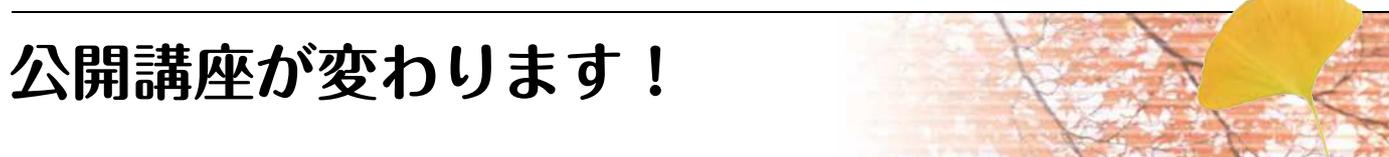
- 万一、講座開催期間中に受講者の新型コロナウイルス感染が認められた場合、必要に応じて受講者の皆様へご連絡いたします。緊急連絡名簿の作成のため、氏名・年代・緊急連絡先の情報提供にご協力ください。
- 保健所の求めに応じて、参加者の情報（氏名・住所・緊急連絡先等）を提供する場合があります。

### その他

- 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催を中止、または内容を変更する場合がございます。
- 体調不良等で講座への出席が困難になった方は、必ず市民大学事務局までご連絡ください。
- 新型コロナウイルス感染症に関連して、人権に配慮した冷静な行動をお願いします。

## お知らせ

# 公開講座が変わります！



受講者の学習意欲の高揚と多くの市民の学びや交流機会の創出のため、平成23年度より開催してまいりました「公開講座」が、令和2年度から大きく変わります。

令和2年度からの「公開講座」は、これまで以上に多くの市民の皆様に満足していただける学びを提供するため、専門講座共通回とせず、独立した講座として、年1回、広く受講者を募集し開催します。

**令和元年度まで**：前期・後期にそれぞれ専門講座共通回として開講（※公開講座の際に、合同開講式を併せて開催。）

**令和2年度から**：独立した講座として、年に1回開講（※公開講座の変更に伴い、開講式は、各専門講座の初回冒頭に行います。）

公開講座の詳細につきましては、11月上旬ごろに市のホームページや広報うつのみやにて  
お知らせいたします。

**楽しみにお待ちください！**

（※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催を中止、または内容を変更する場合がございます。その際は別途お知らせいたします。）

## 受講のご案内

平成5年に開講した宇都宮市民大学は、市民のみなさんの高度で専門的な学習ニーズにお応えし、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、さまざまな講座を開設しています。

**講座内容** 4ページから9ページをご覧ください。

**対象** 宇都宮市内に在住・通勤・通学している人。ただし、応募者が定員に満たない講座のみ、市外の人でも受講できます。

## お申し込みについて

**申込方法** ①10ページの申込はがきで申し込む場合

→必要事項を記入し、63円切手を貼ってお申し込みください。

②郵便はがき、FAX、Eメールで申し込む場合

→10ページの記載例を参考に、希望専門講座名、郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年代、電話番号(緊急連絡先)、過去の受講回数を記入し、市民大学事務局までお申し込みください。1人で複数講座のお申し込みができます。

※1 新型コロナウイルス感染症防止のため、託児サービスは実施いたしません。

※2 電話による受付はいたしません。

※3 個人情報については、宇都宮市民大学の運営に使用させていただくほか、保健所の求めに応じて参加者の情報(氏名・住所・緊急連絡先等)を提供する場合があります。

**申込期間** 令和2年9月1日(火)～9月14日(月) 必着

※ただし、応募者が定員に満たない講座に限り、9月15日(火)から10月2日(金)まで随時お申し込みができます(先着順)。ご希望の講座の応募状況を電話でお問い合わせの上、お申し込みください。

**結果通知** 受講の可否は、後日申込者全員に通知します。

なお、応募者が定員を超えた専門講座は、抽選を行い受講者を決定します。

## その他

- 講師の緊急の都合等により、プログラムを変更する場合があります。
- 受講決定通知が届いた後、やむを得ない理由で受講できなくなった場合は、必ず市民大学事務局までご連絡ください。
- 専門講座会場(人材かがやきセンター研修室ほか)へのご来場には、公共交通機関をご利用ください。

宇都宮市民大学受講生の皆様へ

## 新型コロナウイルス感染防止対策へのご理解とご協力をお願い

この度は、宇都宮市民大学後期専門講座にお申込みいただきありがとうございます。宇都宮市民大学では、皆様に安心して講座を受講いただくため、以下の感染防止対策を講じた上で講座を実施してまいります。

講座受講にあたりましては、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

### 1) 皆様へのお願い



必ず  
**マスクを着用**  
してください。



**手を洗おう 消毒しよう うがいをしよう**

消毒用アルコールによる手指消毒、  
こまめな手洗い・うがいにご協力ください。



**お願いします**

講座当日は検温し、発熱やだるさなど体調に不安がある場合には、ご参加をお控えください。  
※激しい咳が続くなどの場合は、ご退室いただくことがあります。



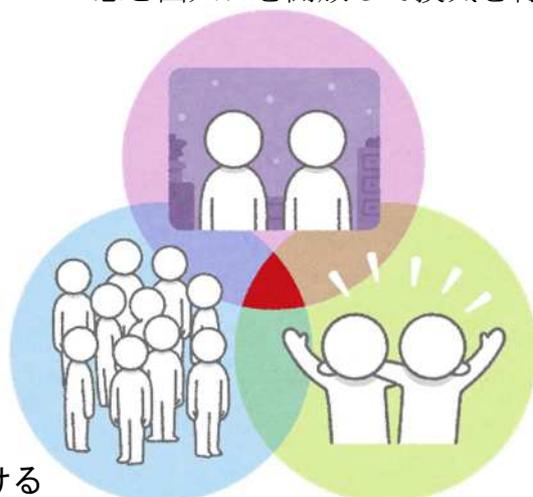
エレベーターが混み合っているときは、1本遅らせるなどご検討ください。

当日会場入口前で検温を行いますので、ご協力くださいますようお願いいたします。講座中に体調が悪くなったときは、すぐに講座スタッフにお声かけください。

## 2) 「3密」を避けるために

### 「密閉」を避ける

⇒講座開始前や休憩時間（30分に1回程度）は、  
窓と出入口を開放して換気を行います。



### 「密集」を避ける

⇒通常より定員を減らして  
実施します。

### 「密接」を避ける

⇒受講者同士の距離を確保する  
ため、座席を指定させていた  
だきます。

⇒演習等を実施する場合も、  
人と人との距離を確保した上で  
実施します。



休憩時間でも、  
受講生同士で近づき過ぎず、  
会話は小声を心がけてください。

## 3) 感染が分かったときは

・万が一、感染が判明した場合や濃厚接触者となった場合は、宇都宮市民大学事務局（人材かがやきセンター☎632-6332）にご連絡ください。

※保健所等の指導により、受講者名や連絡先等の情報を提供する場合があります。

### ■ その他

- ・会場の換気を行うため、エアコンの効きが悪くなる場合があります。各自、寒さ対策（飲み物、膝掛け等）のご準備をお願いします。
- ・今後の状況により、講座の中止や内容の変更が生じる場合があります。

感染症拡大防止に  
ご協力ください



#### 【お問い合わせ先】

宇都宮市民大学事務局

人材かがやきセンター

〒320-0806

宇都宮市中央1-1-13

中央生涯学習センター4階

【TEL】 028-632-6332

【FAX】 028-632-6336

【Eメール】

college@city.utsunomiya.tochigi.jp

## 令和 2 年度宇都宮市民大学公開講座について

令和元年度まで、前期、後期講座の開講に際して「合同開講式・公開講座」を実施してきた。令和 2 年度からは、あり方を見直し、著名な講師を迎え、受講者の学習意欲の高揚や市民大学の更なる周知を図るため、「公開講座」を年 1 回独立した講座とした。

令和 2 年度は、新たな手法による公開講座の初回となるため、特に著名な講師を迎え下記のとおり実施する。

- (1) 実施日 令和 3 年 3 月 6 日 (土)  
時間 : 10 : 00 ~ 又は 14 : 00 ~ (調整中)
- (2) 会場 宇都宮市文化会館大ホール  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、屋内でのイベント実施上限が、定員の半数になることから大ホール (定員 2,000 人) へ変更を行った。
- (3) 受講料 1,000 円 (公開講座受講者のみから徴収)
- (4) 内容
- |     |   |  |  |
|-----|---|--|--|
| テーマ | 東日本大震災から 10 年を迎えて (仮)   | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別紙 3</span> | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考</span> |
| 講師  | 笠井信輔氏 (元フジテレビアナウンサー)  |  |  |
| 時間  | 1 時間 30 分   |  |  |
| 趣旨  | 震災直後から現地を取材し、自身のブログで「津波の『怖さ』をどう伝えるか？」など現在も震災の恐怖や課題を伝え続けている。昨年末悪性リンパ腫を患い、闘病され寛解に。震災を忘れず、今私たちにできること考え、若い世代につないでいく大切さを認識する機会とする。 |  |  |
- (5) その他 新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない状況であることから、今後も情勢を見極めつつ、「国・県イベント開催の制限の緩和」等を参考に、公開講座の実施の可否を判断する。
- (6) 今後のスケジュール
- |         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 1 1 月   | 広報うつのみやにて周知・募集                 |
| 1 2 月   | 受講決定通知発送,<br>⇒受講料の納付確認後チケットの発送 |
| 3 月 6 日 | 公開講座実施                         |

か さ い しん す け  
**笠 井 信 輔**

- 生 年 1963年生まれ。東京都出身。
- 血 液 型 A型 (Rh-)

1987年フジテレビアナウンス部入社後 2019年10月よりフリーになる。  
 趣味の映画鑑賞は新作映画を年間130本以上スクリーンで観るほど。  
 舞台鑑賞は特にミュージカル、とりわけ宝塚歌劇団好き。  
 趣味：映画鑑賞 舞台鑑賞 カラオケ



☆レギュラー番組

CS 「男おばさん!!」

☆主な出演番組

フジテレビ 「とくダネ！」  
 フジテレビ 「バイキング」  
 BS テレ東 「羽田土曜会」  
 TOKYOMX 「モーニング CROSS」  
 日本テレビ 「有吉ゼミ」  
 フジテレビ 「ボクらの時代」  
 テレビ東京 「よじごじ Days」  
 毎日放送 「林先生の初耳学」  
 タイム3  
 今夜は好奇心  
 タイムアングル  
 THE WEEK  
 FNN ニュース 555 ザ・ヒューマン  
 ナイスデイ  
 とくダネ! 発 GO-ガイ!

☆主なラジオ出演

TBS ラジオ 「土曜ワイドラジオ TOKYO ナイツのちゃきちゃき大放送」  
 ニッポン放送 「安東弘樹 DAYS」  
 文化放送 「くにまるジャパン極」

☆主なテレビドラマ

ちびまる子ちゃん スペシャルドラマ版  
 まるまるちびまる子ちゃん  
 スマイル刑事の花咲く事件簿 episode0  
 CHANGE  
 長生き競争!

☆主な映画

交渉人 真下正義 (本人 役 男おばさんとして)  
 UDON (本人 役)  
 ゲゲゲの鬼太郎 (男おばさん 役)  
 小林少女  
 踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望  
 万引き家族



株式会社 オールラウンド

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10 カマ太陽堂ビル5F

TEL:03(3518)9471 FAX:03(3518)9472

## 令和3年度宇都宮市民大学の実施について（案）

### ◎ 趣 旨

令和3年度宇都宮市民大学の実施について協議するもの

#### 1 令和3年度市民大学の実施について

##### (1)開催方針

市民大学事業については、本市の社会教育分野における基本計画である「第3次宇都宮市地域教育推進計画」に基づき、高等教育機関との連携による高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に重点的に取り組む。

令和3年度事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった令和2年度前期専門講座を、特例として令和3年度市民大学で実施する。また、特に郷土愛や地域理解を促進するため専門コースの一部再整理を行い幅広い学習内容で展開することで、受講者満足度の向上を図る。

なお、新型コロナウイルス感染症の終息の見込みが見えないことから、感染拡大には十分に配慮し「新しい生活様式」を取り入れ受講環境の安全を図る。

##### (2)公開講座

公開講座は、多くの市民が一堂に会した学習を提供し、受講者の学習意欲の高揚や市民大学の周知を図ることを目的に実施する。

- ① 実施時期 令和4年2月頃（後期講座閉講後）
- ② 会 場 宇都宮市文化会館小ホール等（収容人数500人程度）
- ③ 講 師 著名人等
- ④ 受講料 500円～1,000円程度

公開講座実施の詳細については、令和3年8月に開催予定の運営協議会において決定する。

##### (3)専門講座のコースの再整理

###### ① 現状

現在、市民大学は、「第3次宇都宮市地域教育推進計画」に掲げた基本目標に基づき「郷土を愛する地域・文化・歴史コース」「今を読み解く現代社会コース」「暮らしを彩る教養コース」の3コースにより講座を展開している。

## ② 課題

市民大学の目的でもある、学んだ市民が、その成果を地域に還元することで地域社会の活性化や持続発展を図るためには、自らの住む地域「宇都宮」の歴史や文化、産業など「宇都宮」の特性を知り、「宇都宮」に愛着と誇りを持つことが重要である。「宇都宮」に特化した「宇都宮学」を学ぶことで地域課題や魅力を発見・共有するとともに、郷土愛や住民意識の醸成を図るため再整理する必要がある。

## ③ 対応

現行の「郷土を愛する地域・文化・歴史コース」を、より「宇都宮」に特化させ「郷土を愛する『宇都宮学』コース」へコース名を変更する。これに伴いコースの内容を下記のとおり設定する。

現 行	変更後	範 囲
I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース	I 郷土を愛する「 <u>宇都宮学</u> 」コース	地域学（宇都宮）講座 歴史文化（宇都宮）講座
II 今を読み解く現代社会コース	II 今を読み解く現代社会コース	現代的課題講座
III 暮らしを彩る教養コース	III 暮らしを彩る <u>文化</u> ・教養コース	教養講座 地域学（宇都宮を除いた広域）講座 歴史文化（宇都宮を除いた広域）講座

## ④ 令和3年度専門講座コース設定（3コース）

### ア 郷土愛を育む「宇都宮学」コース

郷土「宇都宮」の歴史や文化、産業、自然、民俗など「宇都宮」の特質や魅力について学び、「宇都宮」に誇りや愛着をもつための講座

※開催回数の半数以上が宇都宮（人・物・歴史等）に関する内容であることを条件とする

### イ 今を読み解く現代社会コース

個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座

### ウ 暮らしを彩る文化・教養コース

芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

※新たに、宇都宮市以外の地域をテーマとした文化・歴史などが対象となる。

## （4）専門講座の実施方法等

### ① 令和2年度前期専門講座【中止】への対応

令和2年度前期専門講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止としたが、申込んだ市民や企画したVスタッフからは、各専門講座の実施を期待する声が寄せられている。このことから、特例として令和2年度前期講座に予定した講座を、令和3年度専門講座として優先的に実施することとする。

## ② 講座の定員

講座の定員については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3密を回避する必要があるため、「県・国のイベント開催制限の緩和」等から、実施会場である人材かがやきセンター研修室の定員の半数までの受入が上限となってくることから、机やいすの配置等を踏まえ、全ての専門講座の定員は30名とする。(但し、状況により随時見直す。)

## ③ 講座実施数

令和元年度の専門講座では、1講座平均50名超が受講しており、令和2年度前期の申込受付状況においても、定員超過により抽選が見込まれた講座が複数あった。定員を1講座30名に減らすことで、更に多くの未受講者がでてしまうことから、前期・後期それぞれ1講座を増やし、前期7講座、後期7講座の14講座を実施する。

また、令和2年度前期専門講座を優先的に受け入れることで、Vスタッフ企画の選考数が減になることから、令和3年度は事務局企画枠は実施せずVスタッフ枠に提供する。

### 令和3年度専門講座 14講座 (2講座増)

#### ア 前期 (5月下旬～7月) 7講座

- ・内訳 Vスタッフ企画 - 6講座, 大学連携 - 1講座

#### イ 後期 (10月下旬～12月) 7講座

- ・内訳 Vスタッフ企画 - 6講座, 大学連携 - 1講座

※Vスタッフ企画には、令和2年度前期中止となった講座が含まれる。

## ④ Vスタッフ企画講座の選考方法

### ア 募集要項

⇒ **別紙4**参照

### イ 選考会の実施

選考の透明性を確保し客観的な視点から講座を選考するため、専門的な知識を有する委員による講座企画運営選考委員会を実施する。**別紙5**

なお、Vスタッフのスキルアップと、講座企画選考委員会の実施状況の周知・理解を目的として、Vスタッフの希望者に対して、選考委員会の傍聴及び模擬審査への参加を認める。

※ 令和2年度前期中止となった講座は、令和元年度講座企画運営選考委員会を通過していることから、実施時期等を修正した企画書の提出は必要となるが、プレゼンテーション審査は免除し、優先的に選考する。

### ウ 企画講座の決定

講座企画運営選考委員会の選考結果を踏まえ、運営協議会において決定する。

## ⑤ 受講者の決定方法

### ア 申込者が募集定員以内の場合

- ・申込者全員を受講者として決定する。

### イ 申込者が募集定員を超えた場合

・次の人を優先的に抽選を行い受講者を決定する。

- ① 今回初めて市民大学に申込をした人
- ② 前回申込をしたが抽選の結果落選となり、講座をひとつも受講できなかった人
- ③ 今回複数の講座に申込をしており、その講座すべてが抽選となる人

#### ⑥ 館外学習の実施について

これまで、学習テーマや内容に応じて、バスによる館外学習を実施してきたが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況であり、3密回避の観点からバスでの長時間移動は難しいことから、館外学習は実施しない。

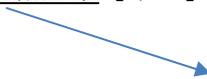
#### (5) 大学連携

専門講座における市内6大学との連携講座を、引き続き実施する。

令和3年度 前期 宇都宮共和大学（予定）

後期 帝京大学（予定）

#### 【参考】

	前 期	後 期
令和2年度	<u>文星芸術大学</u> 【中止】 	作新学院大学・作新学院大学 女子短期大学部 <u>文星芸術大学</u>
令和元年度	宇都宮短期大学	宇都宮大学
平成30年度	宇都宮共和大学	帝京大学

#### 2 今後のスケジュール（予定）

8月下旬 第1回講座企画・運営ボランティアスタッフ連絡会議の開催

・令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画募集要項等の説明

10月中旬 宇都宮市民大学専門講座企画募集の締め切り

・書類審査

11月上旬 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催

・プレゼンテーション審査及び企画選考

11月下旬 第3回宇都宮市民大学運営協議会の開催

・実施企画の決定

令和2年

3月6日 令和2年度公開講座

## 令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画募集要項（案）

### I 令和3年度市民大学の実施について

別紙 参考 「令和3年度宇都宮市民大学の実施について」 参照

### II 市民大学専門講座の募集概要

次のとおり、専門講座の企画を募集する。

#### 1 募集分野（コース）

##### （1）郷土を愛する「宇都宮学」コース

（※開催回数の半数以上が宇都宮（人・物・歴史等）に関する内容であるもの）

##### （2）今を読み解く現代社会コース

##### （3）暮らしを彩る文化・教養コース

#### 2 募集講座数

各コース合わせて12講座（3講座増）

（令和2年度前期専門講座で予定し、令和3年度実施する講座も含む）

#### 3 応募資格

宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ）の個人またはグループを対象とする。

#### 4 応募方法

##### （1）応募受付期間

令和2年9月18日（金）から10月2日（金）

##### （2）提出書類

- ① 令和3年度宇都宮市民大学専門講座応募申込書
- ② 令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画書（様式1）
- ③ 令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画書（学習プログラム）（様式2）

##### （3）提出先

宇都宮市民大学事務局（人材かがやきセンター内）

##### （4）提出方法

直接，メール，郵送

※ 応募書類の返却は不可

※ データが必要な方は、[college@city.utsunomiya.tochigi.jp](mailto:college@city.utsunomiya.tochigi.jp) までご連絡ください。

## 5 講座決定までの流れ

### (1) 予備審査の実施

応募された企画を対象に、事務局による応募書類の確認を行う。

### (2) 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の実施

書類審査を通過した企画は、令和2年11月上旬に、選考委員会によるプレゼンテーション審査を実施する。講座企画運営選考委員会の日程については、応募書類提出後に改めて通知する。

### (3) 宇都宮市民大学運営協議会における審議

上記選考委員会の審査結果を運営協議会に報告し、審議の上、採用する企画を決定する。選考結果については、応募者全員に通知する。

## 6 講座企画者の役割

採用された講座の企画者は、講座企画運営選考委員会の意見を取り入れるとともに、事務局担当者と協力して、講座内容のより一層の充実を図っていく。

また、講師との調整、広報紙等の校正協力のほか、講座当日の会場設営・進行・後片付けなど講座開催に関する業務を、事務局職員等と協力して主体的に担う。

## 7 講座企画上の留意点

(1) 講座回数は6～7回を標準として、8回を限度とする。

(2) 1回の講座時間は2時間。

(3) 定員は、一律30名とする。

(4) 開催時期については、前期講座は5月下旬～7月、後期講座は10月下旬～12月とし、同じ曜日、同じ時間帯を原則とする。

(5) 講座開催会場は、人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）を使用すること。それ以外の会場を使用する場合は、企画書に必要性を併せて明記すること。

(6) 受講料は、開講時に事務局が徴収する。（1回500円×講座回数分）

(7) 受講料のほかに材料費やテキスト代が想定される場合は明記すること。

(8) 令和3年度は託児サービスを実施しない。

(9) また、営利目的や特定の政党・候補者の利害に関すること、特定の宗教・教派・宗教・教団を支援する内容は認められない。

(10) 講座の講師予定者と事前に連絡や相談などを行う場合には、講座は企画の段階であり、講座開催が確定していない旨を説明し、講師に誤解を与えることのないよう留意すること。

(11) 講師謝金については、「市民大学における講師謝金」に基づき支出している旨を説明する。

なお、講師謝金については、事務局で判断することから、具体的な謝金等については提示しないこと。(交通費も同様とする。)

(12) 実技やワークショップについては、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、席の移動や受講生同士の密接などを伴わない手法とすること。

## 8 その他

- (1) 募集期間中における応募状況や他の企画内容についての問い合わせは不可とする。
- (2) グループ企画については、通知等をグループ代表者に一括して送付する。
- (3) 令和3年度の講座数は、Vスタッフ企画12講座(令和2年度前期予定し中止となり、令和3年度実施を希望する講座を含む)大学連携講座2講座とする。

### 【大学連携】

令和2年度 文星芸術大学, 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

令和3年度(予定) 宇都宮共和大学, 帝京大学

- (4) 採用された企画には、企画運営に必要な費用を講座企画運営費として実費を交付する。(予定)(令和2年度実績: 1講座3万円を上限)
- (5) 募集要項に記載のない事項については、事務局に確認すること。
- (6) 企画書(様式1)及び企画書学習プログラム(様式2)について、データ提供を希望する場合は、事務局に申し出ること。

## 令和3年度宇都宮市民大学専門講座応募申込書

令和2年 月 日

別紙の企画書（様式1）及び企画書学習プログラム（様式2）のとおり、  
令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画募集に応募いたします。

代表者 氏名	
住所	〒 宇都宮市
連絡先等	(自宅) 028 ( ) (FAX) 028 ( ) (携帯) - - (Email)
備考	<input type="checkbox"/> 令和2年度前期専門講座（該当する場合は <input checked="" type="checkbox"/> )

※ 個人情報については、宇都宮市民大学事業に使用させていただきます。  
目的以外には使用いたしません。

※ 御不明な点は、生涯学習課（632-2648, 6332）担当：高田まで  
お問い合わせください。

## 令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画書

様式 1

企 画 者	(グループ名がある場合は名称)			
	企画者氏名 (養成講座修了年度) ※グループ代表者に◎印, 企画代表者に○を付ける			
	1	(平成 年度)	5	(平成 年度)
	2	(平成 年度)	6	(平成 年度)
	3	(平成 年度)	7	(平成 年度)
4	(平成 年度)	8	(平成 年度)	

1	コ ー ス 分 類	<input type="checkbox"/> 郷土を愛する「宇都宮学」コース ※開催回数の半数以上が宇都宮 (人・物・歴史等) に関する内容であるもの		
		<input type="checkbox"/> 今を読み解く現代社会コース		
		<input type="checkbox"/> 暮らしを彩る文化・教養コース		
2	講 座 名 サ ブ タ イ ト ル	「 _____ 」 ~ ~		
3	希 望 期 間	○第1希望 ( )	期 間	① 前期 (5月下旬~7月)
		○第2希望 ( )		② 後期 (10月下旬~12月)
4	希 望 曜 日 時 間 帯	○第1希望 曜日 時間帯 ( )	時 間 帯	①午前 (午前10時~正午)
		○第2希望 曜日 時間帯 ( )		②午後 (午後2時~4時)
		○第3希望 曜日 時間帯 ( ) ※水曜日の午前, 午後是一般研修等により研修室は使用できません。		③夜間 (午後6時30分 ~8時30分)
5	定 員	30名		
6	内 容	全 回 詳細は別紙様式2 学習プログラムのとおり		
7	会 場	人材かがやきセンター研修室		

8	受講料	<p style="text-align: center;">円 ( 回 × 500円)</p> <p>実費徴収 <input type="checkbox"/> 有 (目的: <span style="float: right;">金額: <span style="border-bottom: 1px solid black; width: 100px;"></span>円)</span>  <input type="checkbox"/> 無 <span style="float: right;">※バス代を除く見学科等</span></p>
9	収支 (見込み)	<p>○ 受講料収入: <span style="float: right;">円</span>  ( <span style="border-bottom: 1px solid black; width: 100px;"></span> 名 × <span style="border-bottom: 1px solid black; width: 100px;"></span> 円)</p> <p>○ 講師謝金: <span style="float: right;">円</span>  ※講師謝金一覧に基づく, 概ねの謝金額 (交通費も含む)  <b>【算出根拠】</b>  <span style="border-bottom: 1px solid black; width: 100%; display: block; margin-bottom: 5px;"></span> <span style="border-bottom: 1px solid black; width: 100%; display: block;"></span></p> <p>○ 差し引き: <span style="float: right;">円</span></p>
10	スタッフ	企画者 <span style="border-bottom: 1px solid black; width: 100px;"></span> 人
11	その他 特記事項	

令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画書

様式 1

企画者	(グループ名がある場合は名称) あさひ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">企画代表者に○を付ける</span>			
	企画者氏名(養成講座修了年度) ※グループ代表者に◎印, 企画代表者に○を付ける			
	①	栃木 太郎 (平成13年度)	5	横川 明子 (平成19年度)
	2	宇都宮 花子 (平成13年度)	6	養成講座修了年度を記入 (平成 年度)
	③	平石 次郎 (平成14年度)	7	(平成 年度)
	4	清原 (平成17年度)	8	(平成 年度)

グループ代表者に◎を付ける

1	コース分類	<input checked="" type="checkbox"/> 郷土を愛する「宇都宮学」コース ※開催回数の中半数以上が宇都宮(人・物・歴史等)に関する内容であるもの <input type="checkbox"/> 今を読み解く現代社会コース <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当てはまるコースの□を塗りつぶす</span> <input type="checkbox"/> 暮らしを彩る文化・教養コース
2	講座名 サブタイトル	「今こそ陶芸から学ぶ」 ～世界, 地域, 教育の視点から陶芸について考える～
3	希望期間	○第1希望 ( ① ) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第2希望がない場合は, ×を記入</span> ○第2希望 ( × )
4	希望曜日 時間帯	第1希望 火 曜日 時間帯 ( ① ) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">右欄の時間帯の番号を記入</span> ○第2希望 月 曜日 時間帯 ( ② ) ○第3希望 木 曜日 時間帯 ( ① ) ※水曜日の午前, 午後は一般研修等により研修室は使用できません。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">講座の開催曜日を第3希望まで記入</span>
5	定員	30名 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">令和3年度は, 一律30名</span>
6	内容	全 7 回 詳細は別紙様式2学習プログラムのとおり
7	会場	人材かがやきセンター研修室

8	受講料	3,500円(7回×500円) 実費徴収 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (目的 陶芸実習材料費 金額: 1,000円) <input type="checkbox"/> 無
9	講座に係る収支 を記載  収支 (見込み)	講座の回数を記入  ○ 受講料収入: 105,000円 (30名×3,500円) ○ 講師謝金: 210,000円 ※講師謝金一覧に基づく、概ねの謝金額(交通費も含む) 【算出根拠】 <u>全回・大学教授クラス 30,000円×7回</u> <hr/> ○ 差し引き: ▲105,000円
10	スタッフ	企画者 5人
11	その他 特記事項	・陶芸実習を1回(1日)予定 ・期間については、予定している講師の都合により「前期」にしか設定できません

No. \_\_\_\_\_

様式 2

令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画書（学習プログラム）

講座名 サブタイトル	
企画の目的 必要性・効果	
講座概要	
実施に伴う 課題・対応	
アピール ポイント	

回	期日	テーマ	ねらい	
1	月 日 ( )			
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 (        )	
2	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 (        )	
3	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 (        )	
4	月 日 ( )	テーマ	ねらい	
		内 容	学習方法	講 師
			<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 (        )	

令和3年度宇都宮市民大学専門講座企画書（学習プログラム）

<p>講座名 サブタイトル</p>	<p>今こそ陶芸から学ぶ ～世界、地域、教育の視点から陶芸について考える～</p>
<p>企画の目的 必要性・効果</p>	<p>この講座は、実は「社会貢献活動」へのきっかけ作りを目的とする。東日本大震災以降、強く必要とされている、「人と人の絆」。現在も、被災地に対するボランティア活動などの取組みが多く行われている状況であり、「絆」の再構築を契機として、社会教育のあり方を見直す契機であるとも言われている。</p>
<p>企画した講座の趣旨（ねらい）や全コマ受講した後の効果を記入。また、特にターゲットとする受講者等がある場合には、その旨も記入。</p>	<p>この企画では、「陶芸」という文化的・趣味的な講座を前面に出しながらも、各講義の中で、陶芸を例示とした社会貢献活動に対する学びや、「ざぶん展」に参画することで、『「地域貢献活動」の経験』と『「絆」の構築』に自然と関わっていくこととなり、また、受講された方々の経験の伝承などをおして、その家族や友人を含め「地域活動」への参加や「社会貢献活動」への参加にも繋がるものと考え。</p>
<p>講座概要</p> <p>講座の概要を明記してください（パンフレット参照）</p>	<p>陶芸の歴史は人の営みと共に古く、作陶技術は、時代を経て変遷し、生活に身近な器から心を豊かにしてくれる芸術作品までと、私たちとのかわり方も幅広いものとなり、地域の観光振興や文化交流などに貢献する重要な地域資産ともなっている。</p> <p>本講座では、国際的な視点から陶芸の歴史や文化を学んでいく。多くの被災を受けながらも、今に受け継がれ進化を続ける、陶芸文化の力強さとその魅力に、グローバルな視点で注目していく。</p> <p>また、文星芸術大学が取り組んでいる、陶芸を通じた特別支援教育現場との交流・地域活動等から、「陶芸の力が育む『人づくり』」や「陶芸の力が生み出した『ユニバーサルデザイン』」など、陶芸がもたらす様々な効果・効力を事例から学び、「陶芸」の今後の更なる可能性について学んでいく。</p>
<p>実施に伴う課題・対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ざぶん展」のバックヤード見学などがあることから、安全確保に十分に努める必要がある。実施に際しては、十分な事前の連絡調整、会場の下見などを事務局とともに実施することにより対応する。また、運営ボランティアの人数確保にも努める必要がある。</li> <li>・陶芸の実習を伴うことから、実習費が高額にならないよう、効果的・効率的な実施内容について、講師と調整・検討していく。</li> </ul>
<p>アピールポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方に人気がある講師から学べることから、定員を超える申込が期待できる。</li> <li>・「陶芸」に興味をもって参加した方に対し、講義や作陶による充足・満足感などの、いわゆる「個人の要望」に応えることはもとより、陶芸を通じた「人との絆づくり」や「社会貢献活動への直接参加」により、地域活動を積極的に盛り上げる人材の育成も行うことから「社会の要請」にも寄与する、大変有意義な講座であると考えている。</li> </ul>

コマごとの学習の「ねらい」について簡潔に記入

回	期日	テーマ	ねらい	
1	11月1日 (火)	戦乱と陶の歴史 (西洋と東洋の境界線～トルコの風～)	トルコの陶芸文化の力強さとその魅力について学ぶ。	
		内容	学習方法	講師
	月 日	日本と同様に地震の多いトルコでは、陶器も多くの被災を受けている。しかし、長い年月をかけて伝統を受け継ぎ、進化を続けている様子を講師の撮影した映像を交えながら学ぶ。	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 ( )	○○大学 教授 ○○○○ 氏
		テーマ	ねらい	
		内容	具体的に肩書きがわかるよう記入 【例】 ・○○○審議委員会委員 ・△△病院 理学療法士 ※未定の場合は、○○専門家、大学教授クラス等と記入 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 ( )	

コマごとの講義内容について、簡略に記入

具体的に肩書きがわかるよう記入  
【例】  
・○○○審議委員会委員  
・△△病院 理学療法士  
※未定の場合は、○○専門家、大学教授クラス等と記入

## 宇都宮市民大学における講師謝金

講座等における講師並びにこれらに準じるものに対する謝金の基準単価は、特別な場合を除き、次の表を上限額とする。

区 分	講師等の資格	時 間	基 準 額 (円)
第 1 類	(1) 大学教授，准教授，常勤講師 (2) 弁護士 (3) 医師 (4) 特に高度な専門的知識を有する者	2 時間	30,000
第 2 類	(1) 大学非常勤講師，助教 (2) 博物館学芸員 (3) 高度な専門的知識を有する者	2 時間	20,000
第 3 類	(1) 教職員 (2) 各種専門学校の教師 (3) その他専門的知識を有する者	2 時間	12,000

※ 具体的な講師謝金等については，事務局が決定し講師へ通知する。

## 「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

### 1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

### 2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている

## 宇都宮市民大学運営協議会・講座企画運営選考委員会の委員選任について

## ○趣旨

宇都宮市民大学運営協議会（以下「協議会」という。）及び宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会（以下「選考委員会」という。）委員の委嘱期間満了につき新たな委員の選任について報告するもの

## 1 協議会及び選考委員会の所管事務等

名称	宇都宮市民大学 運営協議会	宇都宮市民大学 講座企画運営選考委員会
設置根拠	宇都宮市民大学 運営協議会運営要領	宇都宮市民大学 講座企画運営選考委員会運営要領
所掌事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画講座の承認</li> <li>・ 運営に関すること</li> <li>・ 予算及び決算の承認</li> <li>・ 共催事業に関すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門講座企画運営（案）の審査 （Vスタッフが企画した専門講座 の選考をするための組織）</li> </ul>
委嘱期間	2年（R2.9.1～R4.8.31）	2年（R2.9.1～R4.8.31）
開催回数	年3回	年1回
委員資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者</li> <li>・ 生涯学習関係者</li> <li>・ 講座企画・運営ボランティア スタッフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者</li> <li>・ 生涯学習関係者</li> <li>・ 市職員</li> </ul>
委嘱者	学長（市長）	学長（市長）
定員 （現委員数）	10名以内 （10名）	10名以内 （10名）

## 2 委員選任の考え方

市民大学の事業を円滑かつ効果的に運営するための協議会と、専門講座の企画運営を行う選考委員会、それぞれの特性に対応できる委員を選任するものとする。

委員の選任にあたっては、学識経験者と生涯学習関係者、講座企画・運営ボランティアスタッフ等のバランスを考慮する。

### 3 次期委員（案）について

#### (1) 協議会委員（10名）

学識経験者	市内の高等教育機関との連携を促進するとともに、各校が有する講座開催に関するノウハウを市民大学に活かすため、 <u>各大学等関係者から4名</u> を選考する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝京大学</li> <li>・宇都宮短期大学</li> <li>・文星芸術大学※</li> <li>・宇都宮メディア・アーツ専門学校</li> </ul>
生涯学習関係者	社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握するため、マスコミやボランティア関係者、生涯学習センター運営審議会等関係者から <u>5名</u> を選考する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木放送</li> <li>・下野新聞社</li> <li>・とちぎ未来づくり財団</li> <li>・NPOセンターぼぼら</li> <li>・宇都宮市生涯学習センター運営審議会</li> </ul>
Vスタッフ	講座企画・運営ボランティアスタッフの視点を事業運営に反映するため <u>1名</u> を選考する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座企画・運営ボランティアスタッフ</li> </ul>

#### (2) 選考委員会委員（10名）

学識経験者	市内の高等教育機関との連携を促進するとともに、各校が有する講座開催に関するノウハウを市民大学に活かすため、 <u>各大学等関係者から4名</u> 選考する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮大学</li> <li>・文星芸術大学※</li> <li>・宇都宮共和大学</li> <li>・作新学院大学</li> </ul>
生涯学習関係者	社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握した講座を提供するため、マスコミや県関係者から <u>3名</u> 選考する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エフエム栃木</li> <li>・とちぎテレビ</li> <li>・河内教育事務所</li> <li>ふれあい学習課</li> </ul>
市職員	市職員等から3名選考する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習課長</li> <li>・中央生涯学習センター長</li> <li>・会計年度任用職員</li> </ul>

※ 協議会委員と選考委員の兼任

#### 【参考】

宇都宮市民大学運営協議会運営要領(抜粋)

第3条4 第2項の委員のうち1名は、宇都宮市民大学講座企画選考委員を兼ねるものとする。

宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領(抜粋)

第5条3 委員長は、委員会の会務を総理し、委員会における選考状況及び結果を協議会に報告する。